

ハートふる LETTER



骨粗鬆症リエゾンサービス OLSチームのご紹介

骨粗鬆症とは骨の量が減り、弱くなり骨折しやすくなる病気です。日本には約1300万人の骨粗鬆症の患者さんがいると推測されていますが、実際に治療を受けている方は約2割程度だと言われています。

2022年3月に当院では骨粗鬆症リエゾンサービス（以下OLS）を発足しました。

地域の方々の骨粗鬆症による骨折を防ぎ、元気な骨づくりを目的に取り組んでいます。

OLSとして専門知識をもったスタッフが骨粗鬆症の早期発見、治療介入、退院後の生活指導など多職種でかわり適切な骨粗鬆症に対するコーディネートを行っています。

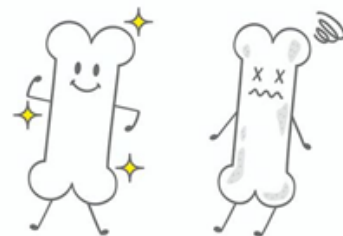
当院のOLSは以下のメンバーで構成されています。

職種	人数
医師（整形外科）	1名
看護師	5名
医療ソーシャルワーカー	1名
医師事務作業補助者	2名
薬剤師	1名
管理栄養士	1名
放射線技師	1名
理学療法士	1名



骨粗鬆症検査受診の予約について

当院の患者連携室宛（直通03-6892-2834）に電話をください。
相談内容の確認と日時の調整を行います。



★検査・診断のみのご依頼

椎体レントゲン、骨密度（DXA法）を測定いたします。

検査結果と問診から骨粗鬆症の判定をし、後日結果を郵送いたします。

（骨密度は当日、採血結果は8日ほど要します）

★診断＋治療導入のご依頼

診断された方に、さらに骨代謝マーカーの採血を行い、整形外科医が患者さんに適した治療薬を提案いたします。診療情報提供書を後日郵送いたします。

（治療開始はかかりつけ医でお願いします）

骨粗鬆症治療連携について

今回の診療報酬改定で、大腿骨近位部骨折後の二次性骨折予防継続管理料が追加されました。（※当院は施設基準を満たしております）
算定対象施設で大腿骨近位部骨折の手術を受け、二次骨折予防のための治療導入後、地域医療施設（かかりつけ医）外来における継続的な骨粗鬆症に関する評価および、治療などを実施した場合、1年を限度として月に1回・外来において算定ができるようになります。

当院は出来高請求病院（非DPC請求病院）であるメリットを活かして、入院中の患者さんにも積極的な薬剤選択を行っております。

大腿骨近位部骨折術後、椎体の圧迫骨折などの重症骨粗鬆症の方には、骨癒合促進を期待できるテリパラチド製剤（テリボン、フォルテオ）の使用を第一選択としています。重症骨粗鬆症の方には、イベニティも対応可能です。

また、退院後にテリパラチド製剤の継続が難しいことがある場合、在宅医療や施設入所、介護度や生活様式に応じて、薬剤切り替えを検討し、プラリア（半年毎）、リクラスト（年一回）を導入しております。

きめ細かい骨粗鬆症地域連携・リエゾンサービスを目指して、多職種で対応いたします。お気軽にご相談ください。

骨粗鬆症マネージャー
看護師 白石 愛

整形外科・外来	月	火	水	木	金	土
午前	富澤	富澤	栗本	/	/	富澤
午後	富澤	/	栗本	/	富澤	-



医療法人 森と海 東京

東京蒲田病院

〒144-0051 大田区西蒲田7-10-1

- ・緊急や外来受診・予約▶
【患者連携室】03-6892-2834
- ・レスパイト・転院相談▶
【患者支援室】03-6892-2812
- ・時間外・夜間▶
【病院代表】03-3733-0525



【最寄駅】

- JR蒲田駅 徒歩6分
- 東急蒲田駅 徒歩6分
- 蓮沼駅 徒歩4分